

元祖大師法然上人御法語

聖道門の修行は正像の時の教えなるが故に上根上智の輩にあらざれば証し難し譬えば西国の宣旨のごとし浄土門の修行は末法濁乱の時の教えなるが故に下根下智の輩を器とすこれ奥州の宣旨のごとし然れば三時相応の宣旨これを取り違うまじきなり 大原にして聖道浄土の論談ありしに法門は牛角の論なりしかども機根比べには源空勝ちたりき 聖道門は深しといえども時過ぎぬれば今の機に適わず浄土門は浅きに似たれども当根に適い易しと言ひし時末法万余経悉滅弥陀一教利物偏増の道理に折れて人みな信伏しきとや仰せられける

まことに大悲誓願の深広なる事たやすく言をもて述ぶべからず心を留めて思うべきなり

為

令和 年 月 日

浄写